

市が予算要望に回答、力合わせ要望実現へ！

日本共産党甲賀市議員団は、昨年11月21日に甲賀市の新年度予算案に、市民の切実な願いを盛り込むよう53項目の「重点要望」書を岩永市長に提出しました。今年1月末、「重点要望」書への回答がありました。要望には沿った内容にはなっていません。引き続き実現にむけ、議会内外で全力で取り組みます。以下は回答の一部。

要望項目	市の回答
2017年7月の国連会議で核兵器禁止条約が採択された。核兵器廃絶を訴える「ヒバクシャ国際署名」に市長自ら署名するとともに、市民に署名を呼びかけること。	平和首長会議が協力をしていくことを公表しており、恒久平和を願う一人として、平成29年12月議会の一般質問で答弁したとおり12月14日に署名を行った。
子どもの医療費無料化を、早期に中学校卒業まで拡充すること。また、国に対しても子どもの医療費無料化を実施するよう強く働きかけること。	平成29年10月より小学6年までの所得制限を廃止し、事業拡大を行ったところ。財源にも限りがある。まずは低所得世帯を優先に進めている。県へは制度拡充の要望は行う。
コミバスの無料乗車券制度は現行の80歳以上をせめて75歳以上に引き下げされたい。高齢者の日常生活支援、まちの活性化、消費拡大にもつながる。	75歳以上への無料化には多くの財源を要することから、まずは市民が利用しやすい交通環境を整備し、利用者増加に伴う収益改善後の課題として検討したい。
旧甲賀病院跡地に「福祉保険医療施設を建設してほしい」という要望がある。体育館新設が計画されているが、福祉保険医療の総合的施設の検討を進めること。	跡地については、合併特例債の期限内整備に向けて、水口体育館の建設を進めている。体育館整備の土地を除いた利活用については、市民の意見を伺い検討する。
来年度より国保の都道府県化が実施される。あらたな制度により、国保税の引き上げとならないよう負担軽減の措置をとること。	県が示す標準保険料率は参考にするものであり、料（税）率を決定するのは市町である。少なくとも料（税）率が統一されるまでの間は、当市の給付に見合った税率を決定していきたい。

要求実現・近況

毎日寒い日が続きます。先日も、雪が舞い散る中でしたが、9条改憲 NO! の署名のお願いにご近所を訪問しました。「戦争はアカン!」「どうなるのか心配」など、ほとんどの方が署名に応じてくださいました。もうすぐ田村神社のお祭りですが、そこでも署名行動をする予定をしています。（岡田重美）



安倍 9条改憲 NO!

3000万人
署名にご協力
をお願いします

その後、23日に投票箱を片付ける際に、投票済の投票用紙が入った投票箱を発見したが、開票事務が終了していたことから、投票済み用紙を廃棄処分としていたこと

その後、23日に投票箱を片付ける際に、投票済の投票用紙が入った投票箱を発見したが、開票事務が終了していたことから、投票済み用紙を廃棄処分としていたこと

小選挙区の開票を行う際、投票総数より開票数が数百票足りないことが判明、開票会場を捜索したが見当たらず、開票の遅延を回避するため、不足分を白紙投票として処理していたこと。

このことは、公職選挙法に抵触するおそれがあるだけでなく、民主主義の根幹をゆるがす行為であり、決して許されるものではありません。

2月6日の議会全員協議会で、松山選管委員長、岩永市長より平成29年10月22日投開票の衆議院選挙小選挙区の開票で不適切な集計への謝罪と説明がありました。

が、2月1日に、市長への内部通報で発覚、選挙管理委員会事務局の総務部長、同次長、同課長の3名に聞き取りをしたところ事実を確認したということでした。3名の職員は、現在自宅待機となっています。

平成29年第48回衆議院議員選挙小選挙区の開票における不適切集計について 徹底究明と再発防止を

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2018年 2月 11日 第202号



山岡 光広
甲南町森尻 16
TEL 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
TEL 83-0765
Fax 83-0765



岡田 重美
土山町南土山甲 78-15
TEL 66-0696
Fax 66-0696